

改善箇所説明図



運転席エアバッグ（裏側）



エアバッグユニットまたは
インフレーター

は対象となる部品を示す

不具合発生箇所

運転席用エアバッグのインフレーター（膨張装置）において、ガス発生剤の吸湿防止が不適切であった場合、高い湿度の環境下で大きな温度変化を繰り返すと、ガス発生剤が劣化することがある。そのため、エアバッグ展開時にインフレーター容器が破損するおそれがある。

改善の内容

全車両、エアバッグインフレーターを確認し、該当するインフレーターであった場合には対策品に交換する。また、車両により搭載しているエアバッグのインフレーターの取付方法が異なるため、仕様に応じて以下の改善措置を行う。

- ①運転席用エアバッグインフレーターを対策品と交換する。
- ②運転席用エアバッグユニットを対策品と交換する。

識別: キャンペーンステッカーに「69Q7、日付(西暦・月・日の順)、ワークショップスタンプ」を記入し、スペアタイヤ収納部左側面に貼りつける。

